

定期作況報告（最終）

（第7号 平成28年11月20日現在）
地方独立行政法人北海道立総合研究機構
農業研究本部 上川農業試験場

1. 気象概況

《平成27年》

11月：平均気温は0.4℃低く、降水量は平年の60%、日照時間は平年の133%であった。

12月：平均気温は2.1℃高く、降水量は平年の124%、日照時間は平年の96%であった。

《平成28年》

1月：平均気温は0.4℃低く、降水量は平年の111%、日照時間は平年の93%であった。

2月：平均気温は0.9℃高く、降水量は平年の182%、日照時間は平年の61%であった。

3月：平均気温は0.4℃高く、降水量は平年の36%、日照時間は平年の129%であった。

4月：平均気温は0.5℃高く、降水量は平年の94%、日照時間は平年の94%であった。

5月：平均気温は2.5℃高く、降水量は平年の71%、日照時間は平年の121%であった。

6月：平均気温は1.9℃低く、降水量は平年の134%、日照時間は平年の85%であった。

7月：平均気温は0.2℃低く、降水量は平年の125%、日照時間は平年の116%であった。

8月：平均気温は1.0℃高く、降水量は平年の184%、日照時間は平年の134%であった。

9月：平均気温は0.7℃高く、降水量は平年の62%、日照時間は平年の85%であった。

10月：平均気温は1.8℃低く、降水量は平年の127%、日照時間は平年の71%であった。

本年の根雪終は4月5日で平年より7日早く、積雪期間は平年より3日短かった。耕鋤始（融雪剤散布圃場）は4月21日で平年より1日遅かった。晩霜は平年より9日早い5月9日であった（表1）。

以上、農耕期間の4月～10月についてまとめると、平均気温は平年に比べ5月が2.5℃高く、6月と10月が2℃弱低かったが、それ以外は0.4～1.0℃高かった。降水量は、8月が184%と最も多く、6、7、10月が125～134%と多かった。それ以外は少なめで9月が62%と最も少なかった。日照時間は8月が134%と最も多く、次いで5月、7月がそれぞれ121、116%と多かった。それ以外は同等か少なく、10月は71%と特に少なかった。

5月から9月までの積算値は、平年に比べ平均気温が68℃高く、降水量は平年より125mm多く、日照時間は73時間多かった。

平成27年11月から平成28年10月までの気象は表2のとおりである。

表1 季節表

	初霜 (前年)	降雪始 (前年)	根雪始 (前年)	根雪終 (月日)	積雪期間 (日)	降雪終 (月日)	耕鋤始 (月日)	晩霜 (月日)	初霜 (月日)	降雪始 (月日)
本年	10月15日	10月13日	11月21日	4月5日	137	4月30日	4月21日	5月9日	10月5日	10月23日
平年	10月7日	10月25日	11月26日	4月12日	140	4月27日	4月20日	5月16日	10月8日	10月24日
比較	8	△12	△5	△7	△3	3	1	△7	△3	△1

注1) 本年は平27～28年の値。

2) 根雪始、根雪終、積雪期間、耕鋤始は比布圃場の観測値。平年は過去10か年の平均値。

3) 初霜、降雪始、降雪終、晩霜は旭川地方気象台による旭川市の観測値。
平年は過去10か年の平均値。

4) △印は平年に比べて早いあるいは短いを示す。

表2 気象表

年 月 旬	平均気温(°C)			最高気温(°C)			最低気温(°C)			降水量(mm)				降水日数(日)			日照時間(hr)			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	(%)	本年	平年	比較	本年	平年	比較	(%)
2015 上 11 中 下	4.7	5.5	▲ 0.8	10.1	10.3	▲ 0.2	-0.9	1.3	▲ 2.2	12.0	38.7	▲ 26.7	31	1	6	▲ 5	39.3	27.7	11.6	142
	2.7	1.3	▲ 1.4	6.4	5.0	1.4	-0.8	-2.1	1.3	25.5	28.3	▲ 2.8	90	5	6	▲ 1	26.0	19.9	6.1	131
	-2.6	-0.7	▲ 1.9	1.6	2.6	▲ 1.0	-7.6	-4.2	▲ 3.4	23.5	35.2	▲ 11.7	67	5	7	▲ 2	21.2	17.6	3.6	120
平均・合計	1.6	2.0	▲ 0.4	6.0	6.0	0.1	-3.1	-1.7	▲ 1.4	61.0	102.2	▲ 41.2	60	11	19	▲ 8	86.5	65.2	21.3	133
上 12 中 下	-1.0	-3.4	2.4	2.0	-0.1	2.1	-4.1	-7.4	3.3	35.5	30.3	5.2	117	6	7	▲ 1	9.5	18.8	▲ 9.3	51
	-1.6	-5.2	3.6	1.9	-1.8	3.7	-6.2	-9.7	3.5	20.0	23.6	▲ 3.6	85	6	7	▲ 1	13.5	16.5	▲ 3.0	82
	-6.2	-6.4	0.2	-2.5	-2.8	0.3	-10.3	-11.4	1.1	36.5	20.5	16.0	178	7	8	▲ 1	29.4	19.2	10.2	153
平均・合計	-2.9	-5.0	2.1	0.5	-1.6	2.0	-6.9	-9.5	2.6	92.0	74.4	17.6	124	19	22	▲ 3	52.4	54.5	▲ 2.1	96
2016 上 1 中 下	-4.9	-7.5	2.6	-3.1	-3.8	0.7	-7.3	-12.7	5.4	36.0	16.9	19.1	213	10	6	4	9.3	17.8	▲ 8.5	52
	-8.9	-9.3	0.4	-5.1	-5.4	0.3	-13.2	-14.4	1.2	4.5	19.5	▲ 15.0	23	3	6	▲ 3	22.5	21.0	1.5	107
	-8.3	-7.9	▲ 0.4	-4.5	-3.7	▲ 0.8	-14.5	-13.2	▲ 1.3	17.0	15.4	1.6	110	6	6	▲ 0	31.8	29.7	2.1	107
平均・合計	-7.4	-8.2	0.9	-4.2	-4.3	0.1	-11.7	-13.4	1.8	57.5	51.8	5.7	111	19	19	0	63.6	68.5	▲ 4.9	93
上 2 中 下	-7.6	-8.6	1.0	-3.0	-3.8	0.8	-13.7	-14.5	0.8	9.0	12.6	▲ 3.6	71	4	6	▲ 2	20.2	33.8	▲ 13.6	60
	-3.5	-7.1	3.6	-0.6	-2.5	1.9	-7.6	-12.9	5.3	45.5	15.7	29.8	290	9	5	4	15.7	34.9	▲ 19.2	45
	-7.1	-5.3	▲ 1.8	-3.0	-0.2	▲ 2.8	-12.8	-11.5	▲ 1.3	17.0	11.0	6.0	155	6	4	2	26.1	33.6	▲ 7.5	78
平均・合計	-6.1	-7.0	0.9	-2.2	-2.2	▲ 0.0	-11.4	-13.0	1.6	71.5	39.3	32.2	182	19	15	4	62.0	102.3	▲ 40.3	61
上 3 中 下	-5.2	-4.2	▲ 1.0	0.6	0.4	0.2	-12.3	-9.9	▲ 2.4	9.0	14.5	▲ 5.5	62	4	5	▲ 1	44.3	42.9	1.4	103
	-0.5	-1.9	1.4	4.7	2.5	2.2	-7.1	-7.0	▲ 0.1	2.0	20.1	▲ 18.1	10	2	6	▲ 4	62.9	36.3	26.6	173
	0.2	-0.5	0.7	5.7	4.4	1.3	-5.6	-5.5	▲ 0.1	5.5	11.4	▲ 5.9	48	4	5	▲ 1	69.8	57.6	12.2	121
平均・合計	-1.8	-2.2	0.4	3.7	2.4	1.2	-8.3	-7.5	▲ 0.9	16.5	46.0	▲ 29.5	36	10	16	▲ 6	177.0	136.8	40.2	129
上 4 中 下	4.1	1.8	2.3	9.4	6.7	2.7	-1.2	-3.6	2.4	13.5	20.0	▲ 6.5	68	4	5	▲ 1	62.2	53.9	8.3	115
	4.0	3.9	0.1	8.8	9.5	▲ 0.7	-0.2	-1.3	1.1	24.0	16.6	7.4	145	9	4	5	30.2	58.2	▲ 28.0	52
	6.6	7.5	▲ 0.9	12.6	13.9	▲ 1.3	1.1	1.4	▲ 0.3	10.0	13.8	▲ 3.8	72	2	4	▲ 2	65.9	57.2	8.7	115
平均・合計	4.9	4.4	0.5	10.3	10.0	0.2	-0.1	-1.2	1.1	47.5	50.4	▲ 2.9	94	15	12	3	158.3	169.3	▲ 11.0	94
上 5 中 下	10.9	10.2	0.7	17.0	16.7	0.3	4.7	4.0	0.7	22.5	23.6	▲ 1.1	95	5	5	0	56.8	57.4	▲ 0.6	99
	14.3	10.7	3.6	21.1	17.0	4.1	7.9	5.0	2.9	8.5	20.1	▲ 11.6	42	3	4	▲ 1	80.5	54.0	26.5	149
	16.7	13.5	3.2	23.9	20.1	3.8	10.0	7.3	2.7	14.0	19.6	▲ 5.6	71	4	4	0	88.1	74.3	13.8	119
平均・合計	14.0	11.5	2.5	20.7	17.9	2.7	7.5	5.4	2.1	45.0	63.3	▲ 18.3	71	12	13	▲ 1	225.4	185.7	39.7	121
上 6 中 下	12.6	16.3	▲ 3.7	16.8	22.9	▲ 6.1	8.5	10.6	▲ 2.1	26.5	16.6	9.9	160	4	3	1	36.3	61.1	▲ 24.8	59
	16.0	17.5	▲ 1.5	20.6	23.1	▲ 2.5	12.2	12.8	▲ 0.6	38.0	31.9	6.1	119	6	4	2	31.2	50.4	▲ 19.2	62
	17.7	18.2	▲ 0.5	23.6	24.4	▲ 0.8	12.6	13.0	▲ 0.4	34.0	24.9	9.1	137	3	3	▲ 0	79.0	61.1	17.9	129
平均・合計	15.4	17.3	▲ 1.9	20.3	23.5	▲ 3.1	11.1	12.1	▲ 1.0	98.5	73.4	25.1	134	13	11	2	146.5	172.6	▲ 26.1	85
上 7 中 下	18.8	20.6	▲ 1.8	24.6	26.3	▲ 1.7	13.5	15.8	▲ 2.3	43.0	31.2	11.8	138	4	3	1	77.7	57.2	20.5	136
	20.1	19.9	0.2	26.2	25.5	0.7	15.6	15.6	0.0	31.0	48.9	▲ 17.9	63	3	4	▲ 1	60.0	57.9	2.1	104
	22.5	21.6	0.9	27.9	27.4	0.5	18.3	17.0	1.3	104.5	63.2	41.3	165	4	5	▲ 1	63.2	58.2	5.0	109
平均・合計	20.5	20.7	▲ 0.2	26.2	26.4	▲ 0.2	15.8	16.1	▲ 0.3	178.5	143.3	35.2	125	11	11	▲ 0	200.9	173.3	27.6	116
上 8 中 下	23.0	22.6	0.4	29.4	28.2	1.2	17.8	18.0	▲ 0.2	25.5	51.1	▲ 25.6	50	3	3	▲ 0	77.7	56.1	21.6	139
	22.7	21.8	0.9	27.7	27.1	0.6	18.4	17.5	0.9	210.5	82.3	128.2	256	4	6	▲ 2	61.1	44.5	16.6	137
	21.7	20.0	1.7	27.4	25.6	1.8	16.5	15.2	1.3	73.5	34.7	38.8	212	6	4	2	72.2	57.2	15.0	126
平均・合計	22.5	21.5	1.0	28.2	27.0	1.2	17.6	16.9	0.7	309.5	168.1	141.4	184	13	13	▲ 0	211.0	157.8	53.2	134
上 9 中 下	20.4	19.0	1.4	25.3	24.6	0.7	17.0	14.4	2.6	56.5	72.6	▲ 16.1	78	6	5	1	26.7	48.1	▲ 21.4	56
	15.4	16.7	▲ 1.3	20.9	22.7	▲ 1.8	10.6	11.8	▲ 1.2	18.0	39.9	▲ 21.9	45	2	4	▲ 2	42.2	48.9	▲ 6.7	86
	15.4	13.4	2.0	21.6	19.6	2.0	10.2	8.0	2.2	19.0	39.5	▲ 20.5	48	3	5	▲ 2	57.9	51.7	6.2	112
平均・合計	17.1	16.4	0.7	22.6	22.3	0.3	12.6	11.4	1.2	93.5	152.0	▲ 58.5	62	11	14	▲ 3	126.8	148.7	▲ 21.9	85
上 10 中 下	10.7	11.3	▲ 0.6	16.0	17.1	▲ 1.1	5.4	6.3	▲ 0.9	48.0	36.8	11.2	130	7	5	2	37.1	47.0	▲ 9.9	79
	8.4	8.8	▲ 0.4	13.9	14.5	▲ 0.6	3.6	3.7	▲ 0.1	39.5	37.4	2.1	106	6	6	▲ 0	39.4	38.6	0.8	102
	2.3	6.6	▲ 4.3	5.3	12.0	▲ 6.7	-0.4	1.8	▲ 2.2	52.5	36.0	16.5	146	9	5	4	12.8	39.9	▲ 27.1	32
平均・合計	7.1	8.9	▲ 1.8	11.7	14.5	▲ 2.8	2.9	3.9	▲ 1.1	140.0	110.2	29.8	127	22	17	5	89.3	125.5	▲ 36.2	71

1) 比布アメダス観測値。
2) 平年は比布アメダス前10か年の平均値。
3) ▲印は平年に比べて減を示す。

表3 農耕期間積算値 (5月~9月)

期間	項目	平均気温	降水量	降水日数	日照時間
		(°C)	(mm)	(日)	(hr)
5月上旬 ~ 9月下旬	本年	2,741	725	60	911
	平年	2,673	600	62	838
	比較	68	125	▲ 2	73

注 1) 比布アメダス観測値。
2) 平年は過去10か年の平均値。
3) ▲印は平年に比べて減を示す。

1) 水 稲 : 良

事由：播種は平年より1日遅い4月15日に行った。育苗期間の天候は4月中旬が寡照に経過し、出芽は平年よりやや遅れ、出芽揃いもやや劣った。4月下旬の気温は平年より低く、苗の生育は遅延したが、5月上・中旬の好天により苗の生育は徐々に回復した。移植は平年より1日遅い5月20日に行った。移植時の草丈は平年より低かったが、第1葉鞘高、主稈葉数、茎数は平年並であった。地上部乾物重は平年より軽かったが、苗の形質はいずれも、機械移植栽培基準の範囲にあり、苗の充実度は平年並であった。

5月下旬の高温・多照により活着は良好で生育も順調であったが、6月上・中旬の低温・日照不足により生育は停滞した。6月20日の生育は平年に比べ草丈は低く、主稈葉数も少なく、㎡当たり茎数はかなり少なかった。

6月下旬から7月上旬の低温により生育はさらに遅れ、幼穂形成期は平年より4～6日遅く、止葉期は平年より7日遅くなった。7月中旬の天候は平年並になり生育は回復傾向を示した。7月20日の草丈は平年より低かったが、止葉葉数は平年並で茎数は平年よりやや多かった。

7月下旬から8月中旬の高温・多照により生育は徐々に回復し、出穂期は平年より4～5日遅れ、穂揃い日数は平年並で、登熟は順調に進んだ。成熟期の稈長は平年よりやや長く、穂長は平年並からやや短く、㎡当たり穂数は平年より多かった。

8月下旬は高温・多照により登熟は順調であったが、9月上旬は気温は高かったが日照は少なく、9月中旬は低温・寡照となり登熟は緩慢で揃いも劣った。成熟期は平年より8～12日遅く、登熟日数も平年より4～7日長かった。なお、各品種ともなびく程度の倒伏が認められた。

㎡当たり穂数および一穂粒数は平年よりも多く、稔実歩合は平年より低かったが、㎡当たり稔実粒数は平年に比べ12～19%多かった。登熟歩合は平年より低く、粒摺歩合も平年よりやや低く、精玄米千粒重は平年並みであった。10 a 当たり精玄米重の収量は、平年に比べ7～8%多かった。検査等級は、心白粒・腹白粒の多発により平年よりかなり劣った。

したがって、本年の作況は「良」である。

表4 水稻の生育

項目	品種名 ／年次	ななつぼし			きらら397			ゆめびりか			
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
生育期節	播種期 (月日)	4.15	4.14	1	4.15	4.14	1	4.15	4.14	1	
	移植期 (月日)	5.20	5.19	1	5.20	5.19	1	5.20	5.19	1	
	幼穂形成期 (月日)	6.27	6.23	4	7.02	6.26	6	6.28	6.23	5	
	止葉期 (月日)	7.16	7.09	7	7.18	7.11	7	7.16	7.09	7	
	出穂期 (月日)	7.25	7.21	4	7.26	7.22	4	7.25	7.20	5	
	成熟期 (月日)	9.16	9.08	8	9.21	9.10	11	9.18	9.06	12	
	穂揃日数 (日)	8	8	0	8	7	1	9	8	1	
	登熟日数 (日)	53	49	4	57	50	7	55	48	7	
生育日数 (日)	154	147	7	159	149	10	156	145	11		
移植時	草丈 (cm)	11.1	13.7	▲ 2.6	11.2	13.1	▲ 1.9	11.4	13.6	▲ 2.2	
	葉数 (枚)	4.0	4.0	0.0	4.1	4.1	0.0	4.0	4.2	▲ 0.2	
	茎数 (本)	1.9	1.7	0.2	2.0	1.8	0.2	2.0	2.0	0.0	
	第1葉鞘高 (cm)	2.4	2.5	▲ 0.1	2.5	2.6	▲ 0.1	2.4	2.5	▲ 0.1	
	地上部乾物重 (g/100本)	3.58	4.41	▲ 0.83	3.40	4.23	▲ 0.83	3.60	4.47	▲ 0.87	
	地上部乾物重/草丈	0.32	0.32	0.00	0.30	0.32	▲ 0.02	0.32	0.33	▲ 0.01	
本田生育	葉数 (枚)	6月20日	7.6	8.2	▲ 0.6	7.9	8.6	▲ 0.7	7.9	8.6	▲ 0.7
		7月20日	10.2	10.2	0.0	11.0	11.0	0.0	10.6	10.6	0.0
		止葉葉数	10.2	10.2	0.0	11.0	11.0	0.0	10.6	10.6	0.0
	茎数 (本/m ²)	6月20日	453	608	▲ 155	520	727	▲ 207	505	680	▲ 175
		7月20日	746	731	15	867	797	70	889	816	73
	草丈 (cm)	6月20日	34.5	39.7	▲ 5.2	32.3	34.0	▲ 1.7	34.2	37.8	▲ 3.6
7月20日		74.4	81.9	▲ 7.5	69.4	73.7	▲ 4.3	74.4	80.5	▲ 6.1	
成熟期	稈長 (cm)	69.9	67.9	2.0	65.9	62.7	3.2	67.3	65.1	2.2	
	穂長 (cm)	16.2	16.7	▲ 0.5	16.6	16.5	0.1	16.4	16.8	▲ 0.4	
	穂数 (本/m ²)	696	672	24	758	727	31	824	755	69	
収量構成要素	一穂籾数 (粒)	55.1	49.1	6.0	51.1	42.2	8.9	46.7	42.6	4.1	
	m ² 当たり籾数 (×千)	38.3	33.0	5.3	38.7	30.5	8.2	38.5	32.0	6.5	
	稔実歩合 (%)	92.6	96.1	▲ 3.5	88.9	95.6	▲ 6.7	89.6	95.1	▲ 5.5	
	m ² 当たり稔実籾数 (×千)	35.5	31.7	3.8	34.4	29.2	5.2	34.5	30.4	4.1	
	同上比 (%)	112	100	12	118	100	18	113	100	13	
	登熟歩合 (%)	78.2	90.8	▲ 12.6	76.6	87.1	▲ 10.5	79.3	87.1	▲ 7.8	
	籾摺歩合 (%)	77.9	81.9	▲ 4.0	77.5	80.9	▲ 3.4	76.5	79.7	▲ 3.2	
	屑米歩合 (%)	4.9	1.7	3.2	4.1	2.1	2.0	5.4	2.7	2.7	
精玄米千粒重 (g)	22.5	22.4	0.1	23.2	23.3	▲ 0.1	22.7	22.8	▲ 0.1		
収量	藁重 (kg/10a)	641	629	12	654	582	72	634	604	30	
	精籾重 (kg/10a)	915	810	105	894	792	102	882	796	86	
	精玄米重 (kg/10a)	716	663	53	693	640	53	678	634	44	
	収量平年比 (%)	108	100	8	108	100	8	107	100	7	
	検査等級 (等)	2中	1下	-	2下	1下	-	3上	1下	-	

注 1) 平年値は前7カ年の中、平成21年(最凶年)、平成26年(最豊年)を除く5カ年の平均値。

2) △は平年に比べ「早」、▲は平年に比べ「減」を示す。

3) 苗代耕種概要 育苗様式：成苗ポット苗

施肥量：成分量でm²あたり、床土 N 3.0g, P₂O₅ 7.2g, K₂O 3.0g、

置床 N 27.0g, P₂O₅ 34.0g, K₂O 18.0g

4) 本田耕種概要 栽植密度：25.3株/m² (33.0cm×12.0cm)、3本植

施肥量：成分量で10aあたり、N 8.0kg, P₂O₅ 9.7kg, K₂O 6.9kg, 堆肥1,000kg

5) 精玄米千粒重・精玄米重：網目1.90mm以上、水分15%換算

2) 秋まき小麦：良

事由：平年より5日早い9月10日に播種し、平年より5日早い9月19日に出芽期となった。出芽期が平年より早く、9月下旬の気温が高かったことから、越冬前の葉数、草丈および茎数はいずれも平年を上回り、特に茎数は平年の約2倍となった。根雪始は平年より5日早く、根雪終は平年より7日早く、積雪期間は平年より3日短い137日となった。雪腐病発病度は平年より低く、越冬茎歩合は平年よりやや高かった。融雪後高温傾向で推移したため、出穂期は平年より5日早い6月1日となった。その後、6月上中旬が低温寡照となり生育は停滞傾向であったが、6月20日時点の草丈は平年よりやや高く、茎数は平年を上回った。出穂以降、低温で経過したことから登熟はゆるやかに進み、成熟期は平年より4日遅い7月22日となった。出穂期は平年より5日早かったため、登熟日数は平年より9日長かった。穂数が平年より多く、子実重は平年比117%と多収であった。子実の充実も良好で、千粒重は平年を上回り、リットル重は平年をやや上回った。検査等級は平年を上回る1等となった。

したがって、本年の作況は「良」である。

表5. 秋まき小麦の生育および収量

品 種 名		きたほなみ		
項 目	年次	本 年	平 年	比 較
播種期 (月.日)		9.10	9.15	△ 5
出芽期 (月.日)		9.19	9.24	△ 5
出穂期 (月.日)		6.01	6.06	△ 5
成熟期 (月.日)		7.22	7.18	4
越冬茎歩合 (%)		132.3	128.2	4.1
雪腐病発病度		3.1	12.1	▲ 9.0
葉数(枚)	平27年10月20日	5.1	4.4	0.7
草丈 (cm)	平27年10月20日	19.6	18.5	1.1
	平28年 5月20日	42.9	38.4	4.5
	平28年 6月20日	88.3	86.5	1.8
茎数 (本/m ²)	平27年10月20日	1473	723	750
	平28年 5月20日	1599	1366	233
	平28年 6月20日	764	685	79
成熟期	稈長 (cm)	78	78	0
	穂長 (cm)	7.9	8.6	▲ 0.7
	穂数(本/m ²)	721	633	88
子実重 (kg/10a)		754	646	108
同上平年比 (%)		117	100	17
リットル重 (g)		813	804	9
千粒重 (g)		42.9	39.2	3.7
検査等級 (等)		1	2中	-

注 1) 平年値は、前7か年中、平成22年、27年(収穫年度)を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早を、▲は平年より減を示す。

3) リットル重は1リットル升による測定。

3) 春まき小麦：良

事由：融雪は平年より7日早かったが、播種期は平年より3日遅い4月22日であった。出芽期は平年より1日遅れに留まったが、草丈、茎数は平年をやや下回って推移した。6月上中旬の低温の影響を受け出穂期は平年より4日遅く、成熟期は平年より5日遅かった。稈長は平年並で、穂長はやや短かったが、有効茎歩合が高く穂数は平年並となった。また、出穂後の気温が平年並からやや低く推移するとともに登熟日数が確保されたことから、子実重は平年比121%と多収であった。リットル重と千粒重は平年並であり、検査等級は平年を上回る2上であった。

したがって、本年の作況は「良」である。

表6. 春まき小麦の生育および収量

品 種 名 項 目 \ 年次		春よ恋		
		本 年	平 年	比 較
播種期	(月.日)	4.22	4.19	3
出芽期	(月.日)	5.05	5.04	1
出穂期	(月.日)	6.21	6.17	4
成熟期	(月.日)	8.02	7.28	5
草丈 (cm)	5月20日	16.7	20.5	▲ 3.8
	6月20日	68.2	81.7	▲ 13.5
茎数 (本/m ²)	5月20日	496	684	▲ 188
	6月20日	638	758	▲ 120
成 熟 期	稈長 (cm)	95	91	4
	穂長 (cm)	8.1	8.7	▲ 0.6
	穂数(本/m ²)	554	512	42
子実重	(kg/10a)	587	484	103
同上	平年比 (%)	121	100	21
リットル重	(g)	794	788	6
千粒重	(g)	39.4	40.2	▲ 0.8
検査等級	(等)	2上	2中	-

注 1) 平年値は、前7か年中、平成22年、24年を除く5か年の平均値。

2) ▲は平年より減を示す。

3) リットル重は1リットル升による測定。

4) 大豆：平年並

事由：播種期は平年より3日早い5月18日であった。5月中下旬が高温少雨に経過し、土壌が乾燥傾向であったこと、6月上旬の気温が低かったことから、出芽の進みは緩慢となり、出芽期は平年より6日遅い6月9日であった。6月下旬と7月上旬が低温で推移したため、引き続き生育は遅れ、開花期は平年より6日遅い7月18日となった。7月下旬の強い降雨によりほぼ全面が倒伏した。成熟期は平年より2日遅い9月24日であった。成熟期の主茎長は平年より10.9cm短かく、主茎節数は0.6節少なく、百粒重が平年より3.4g軽い33.1gであったが、分枝数と着莢数は平年を上回り、子実重は427kg/10aと平年並となった。屑粒率は平年より低く、検査等級は平年を上回る1等となった。

したがって、本年の作況は「平年並」である。

表7 大豆の生育および収量

品 種 名		ユキホマレ		
		本 年	平 年	比 較
項 目 \ 年次				
播種期 (月.日)		5.18	5.21	△ 3
出芽期 (月.日)		6.09	6.03	6
開花期 (月.日)		7.18	7.12	6
成熟期 (月.日)		9.24	9.22	2
主茎長 (cm)	6月20日	8.6	11.9	▲ 3.3
	7月20日	53.8	63.5	▲ 9.7
	8月20日	61.1	71.8	▲ 10.7
	9月20日	62.0	72.2	▲ 10.2
	成熟期	62.0	72.9	▲ 10.9
主茎	6月20日	3.3	4.2	▲ 0.9
	7月20日	9.8	10.5	▲ 0.7
節数 (節)	8月20日	10.1	10.7	▲ 0.6
	9月20日	10.3	10.9	▲ 0.6
	成熟期	10.3	10.9	▲ 0.6
分枝数 (本/株)	7月20日	6.3	7.1	▲ 0.8
	8月20日	7.2	7.5	▲ 0.3
	9月20日	6.7	6.1	0.6
	成熟期	6.7	5.9	0.8
着莢数 (個/株)	8月20日	105	91	14
	9月20日	88	77	11
	成熟期	88	76	12
子実重 (kg/10a)		427	426	1
同上平年比 (%)		100	100	0
百粒重 (g)		33.1	36.5	▲ 3.4
屑粒率 (%)		1.1	3.7	▲ 2.6
検査等級 (等)		1	3上	-

注 1) 平年値は、前7か年中、平成22年、26年を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早を、▲は平年より減を示す。

5) 小 豆： 良

事由：播種期は平年より1日早い5月23日に行ったが、その後は土壌が乾燥状態で推移したため、出芽期は平年より8日遅かった。その後、6月中旬の降雨により土壌水分が十分であったことから出芽揃は良好であったが、平年より開花期も9日、成熟期も18日遅れた。7月下旬のまとまった降雨により倒伏も見られたが、成熟期の主茎長と分枝数は平年を上回った。主茎節数と着莢数は平年をやや下回ったが、子実重は平年比111%と多収であった。百粒重は平年よりやや重く、屑粒率は平年よりやや低く、検査等級は平年並であった。

したがって、本年の作況は「良」である。

表8 小豆の生育および収量

品 種 名		エリモシヨウズ		
項 目	年次	本 年	平 年	比 較
播種期	(月.日)	5.23	5.24	△ 1
出芽期	(月.日)	6.16	6.08	8
開花期	(月.日)	7.31	7.22	9
成熟期	(月.日)	9.22	9.4	18
主茎長 (cm)	6月20日	1.9	4.8	▲ 2.9
	7月20日	18.8	34.8	▲ 16.0
	8月20日	73.8	65.6	8.2
	成熟期	84.1	67.0	17.1
本葉数 (枚)	6月20日	0.0	1.5	▲ 1.5
	7月20日	6.1	9.7	▲ 3.6
	8月20日	12.7	13.0	▲ 0.3
主茎節数 (節)	成熟期	14.1	15.0	▲ 0.9
分枝数 (本/株)	7月20日	3.8	6.0	▲ 2.2
	8月20日	5.8	5.6	0.2
	成熟期	6.6	5.1	1.5
着莢数 (個/株)	8月20日	52	54	▲ 2
	成熟期	53	59	▲ 6
子実重	(kg/10a)	360	325	35
同上	平年比 (%)	111	100	11
百粒重	(g)	13.6	12.6	1.0
屑粒率	(%)	2.4	3.4	▲ 1.0
検査等級	(等)	3中	3中	-

注 1) 平年値は、前7か年中、平成22、27年を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早を、▲は平年より減を示す。

3) 成熟期の数値は、9月20日時点の測定値である。

6) ばれいしょ：平年並

事由：植付けは平年より2日遅い5月10日に行い、萌芽も1日遅かった。6月上旬の乾燥と6月上中旬の低温の影響を受け、初期生育は平年よりやや劣った。その後は土壤水分が確保され、地上部生育および塊茎の肥大とも順調に進み、枯ちよう期は平年より1日早く、茎長、上いも数、上いも平均一個重、上いも収量は平年並であった。また、6月下旬以降の日照時間が多かったことからでん粉の蓄積が良好で、でん粉価は平年を上回った。

なお、本年は塊茎の個数が確保された上で肥大が順調であり、3L以上の塊茎の割合が低かったことから中以上いもおよび規格内収量は平年を上回った。

したがって、本年の作況は「平年並」である。

表9. ばれいしょの生育および収量

品 種 名		男爵薯		
項 目	年次	本 年	平 年	比 較
植付期	(月.日)	5.10	5.08	2
萌芽期	(月.日)	5.29	5.28	1
開花始	(月.日)	6.26	6.23	3
枯凋期	(月.日)	8.29	8.30	△ 1
茎長 (cm)	6月20日	30.1	38.0	▲ 7.9
	7月20日	51.5	51.7	▲ 0.2
上いも数 (個/株)	7月20日	10.0	9.7	0.3
	8月20日	11.5	10.9	0.6
上いも平均 一個重 (g)	7月20日	72	80	▲ 8
	8月20日	100	104	▲ 4
上いも収量 (kg/10a)	7月20日	3199	3406	▲ 207
	8月20日	5116	4957	159
でん粉価 (%)	7月20日	14.4	14.4	0.0
	8月20日	16.6	14.9	1.7
収 穫 期	上いも数 (個/株)	10.7	10.7	0.0
	上いも平均一個重 (g)	100	103	▲ 3
	上いも収量 (kg/10a)	4758	4821	▲ 63
	同上平年比 (%)	99	100	▲ 1
	中以上いも収量 (kg/10a)	4621	4326	295
	同上平年比 (%)	107	100	7
	規格内いも収量 (kg/10a)	4553	4070	483
	同上平年比 (%)	112	100	12
でん粉価 (%)	16.1	14.6	1.5	

注 1) 平年値は、前7か年中、平成22、23年を除く5か年の平均値。

2) ▲は平年より減を示す。

3) 規格内収量は、生食用規格内 (M～2L：60～260g) の収量である。